

ボーイスカウト福島第一団 令和3年8月の活動

【ビーバースカウト隊】

8月22日 日曜日。ビーバースカウト(小学校1～2年生のボーイスカウト)隊では、ウェブ上で隊集会を行いました。ボーイスカウト日本連盟では、新型コロナウイルス感染予防のため、対面での活動休止に対応するため、無料で使用できるウェブ会議システムを提供しています。今日の隊集会



はこの会議システム(Googlemeet)を使用して開催したもので、今回が通算4回目のウェブ上での活動となりました。約1か月ぶりの隊集会。久しぶりに10人のスカウト全員が参加し、パソコン上の画面はとても賑やかです。スカウト自身に加え、保護者様もウェブ隊集会には慣れてきており、マイクやビデオ機能のオンオフの他、画面共有機能をもフル活用した内容となってきています。本日は7つのプログラムを準備。スカウトが好きな色や食べ物を予想する「〇〇さんが好きな物」。カラーボールの画像を記憶して、リーダーの質問に答える「カラーボール」。言葉で伝えた、動作、しぐさを想像して自分なりに表現してみる【オンライン de ポーズ】。スーパーやコンビニなどの看板を見て、店舗名を当てる【この看板はなーんだ?】。

スカウトや保護者様のほか、スカウトの兄弟も一緒にゲームに参加。画面の中ではありましたが、久しぶりにスカウト達がお互いの顔を見ながら、楽しく活動してくれました。

楽しい時間はあっという間に過ぎます。終わりのセレモニーではスカウト達から楽しかったとの感想のほか、飽きちゃったとの感想も。画面の前で1時間以上座っているのは、ビーバースカウト年代には退屈な一面もあるようです。



【カブスカウト隊】

まん延防止対策期間中の 8 月 15 日、カブスカウト隊ではオンラインで隊集会を開きました。なかよしの輪の後、開会のセレモニー国旗儀礼を行い、特別参加の団委員長よりスカウト達にお話がありました。今日のプログラムはパワーポイントを使った隊長のお話「ボーイスカウトのはじまり」。創始者



ベーデンパウエルの実験キャンプのことや、スカウトのために書かれた「スカウティング フォア ボーイズ」を読んだ少年達が始めた活動のことや、イギリスからアメリカにスカウト運動が伝わった「無名スカウトの善行」や、日本へはどのように伝わったのかを野木希典大将のことや後藤新平総長の自治の三訣や、無名スカウト戦士のお話などを聞きました。そして来年が日本連盟 100 周年であること、その間つらいことや悲しいこと、困難なことなどにもくじけず、スカウト運動が続いていることなどを聞きました。

後半は、副長によるエコマークのクイズとゲーム。二種類以上のエコマークのついたものを家の中から探してくるゲームを行いました。集会の最後に保護者の皆さんからご意見や要望などをお聞きし、最後にスカウト全員でなかよしの輪を行い解散しました。

